

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
2 部 3 年	教育方法論	渡部 恭子	
サブタイトル	教育方法の多様性と影響力	単 位 数	2
授業形態	講義		
開講時期	前期	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
本科目では、教育方法を吟味・選択・考案する思考力と実践力を身につけることを目標とする。 1. 教育の3つの視点（目的・内容・方法）が相互に密接に関わり、影響し合うことを実感する。 2. 教育メディアが多様化する動向を把握し、情報機器を含む活用例について考察する。 3. 情報や自分の考えを的確に伝える方法を考え、試行する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、特に「専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている」ことを目指す科目である。 現代において教育を営む上で、教育方法とは欠かせない要素のひとつとして考えられ、教育全体に大きな影響を及ぼす可能性を持っている。そのため、教育方法についての的確に分析し、検討し、実践する力は、教育者にとって不可欠な力であるといえる。			
授 業 の 方 法			
導 入：振り返りに書かれた意見をまとめ、質問に回答しながら前回の授業内容を振り返る。 展 開：適宜互いの考えを共有しながら実践し省察する。講義や試行を通じて、教育に携わる上で必要となる柔軟な思考力や、自己省察力、実践力を養う。 まとめ：振り返りを記入することで、授業内容を自分の言葉でまとめる。感じたことや気づきを文章で表現することにより、自分の考えを客観視し、理解を深める。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：特に指定しない。 教 材：必要に応じて、プリントを配付する。 参考図書：『新しい保育・幼児教育方法』 広岡義之編著 ミネルヴァ書房 2013 年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017 年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
期末に提出するレポート、授業内での発表、授業毎に記入するコメント（振り返りを含む）や提出物の内容を総合的に評価する。 欠席者には課題が出され、指定された期日までに提出されなかった場合は減点する。さらに、その欠席分課題が期末レポート提出日までにはすべて提出されなかった場合、「授業での提出物」は評価できず 0%とする。		レポート	60%
		授業での発表	10%
		授業での提出物	30%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
授業の方針や評価方法については、初回の授業でより詳しく説明する。 ノートの指定・提出はしない。 wtnbkyo5@wa.seitoku.ac.jp			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	ガイダンス： 教育方法論を学ぶ意義とは (授業の方針と、教育における3つの視点を確認する)	教育方法が教育全体に及ぼす影響への理解
2 回	計画の立案過程 (教育における計画・実行・評価・改善の流れを意識する)	教育実践を計画する視点とその重要性の理解
3 回	記録の方法と工夫 (幼児教育の現場において記録が果たす役割を考える)	記録の重要性を理解し現場で工夫する力
4 回	評価と考察 (教育活動を客観視するための視点と伝え方を探る)	教育活動を客観的に評価するための視点
5 回	子どもの主体性 (主体的な活動事例を考察し、主体性について理解を深める)	子どもの主体性を具体的に想定する力
6 回	子どもの対話 (対話が生まれる場面を想定し、対話を促す教育方法を考える)	子どもの対話を引き出す方法を考える力
7 回	子どもの「深い学び」とは (遊びを通じたディープ・ラーニングを具体的に考察する)	子どもの学びの深さを意識する力
8 回	教材の比較(1) 媒体のもつ特性 (絵本や紙芝居など、各教材がもつ特性を整理し比較する)	各々の特性を意識して教材を選択し活用する力
9 回	教材の比較(2) 媒体による変化 (教材の特性により内容に影響が及ぶことを確認する)	各々の特性を意識して教材を選択し活用する力
10 回	伝えるための基礎を学ぶ (伝えるために不可欠となる基本的な技術を確認する)	伝えるために必要となる基本的な技術
11 回	伝える工夫を考える (「伝わる」発表方法の工夫を具体的に考え、自己改善を図る)	自分の課題に対する改善策を試行する力
12 回	伝える技術を磨く： 個人発表 (伝えるための多様な技術を身につけ、自身の可能性を広げる)	様々な伝え方の長短を考え自ら吟味する姿勢
13 回	情報化社会と教育(1) 子どもの情報活用能力 (子どもの情報モラルを含む情報活用力の育成法を考える)	子どもと情報の関わり方を想定する力
14 回	情報化社会と教育(2) 幼児教育現場における情報機器の活用 (幼児教育での情報機器の活用方法を分析し、考察する)	情報機器の特性を把握し活用を検討する力
15 回	教育方法の多様性と影響力 (全15回の授業を振り返り、要点や気づきを整理する)	教育方法を客観視し、多角的に考える姿勢